



平成24年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月30日

上場取引所 東 札

上場会社名 株式会社 アインファーマシーズ
 コード番号 9627 URL <http://www.aini.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 喜一

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 加藤 博美

四半期報告書提出予定日 平成23年12月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

TEL 011-783-0189

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年4月期第2四半期の連結業績(平成23年5月1日～平成23年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年4月期第2四半期	68,833	11.3	4,781	39.9	4,871	40.4	2,364	39.3
23年4月期第2四半期	61,840	3.5	3,417	20.1	3,469	25.6	1,697	25.8

(注) 包括利益 24年4月期第2四半期 2,282百万円 (46.9%) 23年4月期第2四半期 1,554百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年4月期第2四半期	148.34	—
23年4月期第2四半期	115.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年4月期第2四半期	81,565	31,064	38.0	1,946.05
23年4月期	76,940	29,498	38.3	1,847.46

(参考) 自己資本 24年4月期第2四半期 31,021百万円 23年4月期 29,450百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年4月期	—	0.00	—	45.00	45.00
24年4月期	—	0.00	—	—	—
24年4月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年4月期の連結業績予想(平成23年5月1日～平成24年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	143,000	10.5	9,670	19.3	9,500	15.7	4,850	23.8	304.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項 (2)「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年4月期2Q	15,944,106 株	23年4月期	15,944,106 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年4月期2Q	3,220 株	23年4月期	3,102 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年4月期2Q	15,940,953 株	23年4月期2Q	14,699,456 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想数値と異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年5月1日～平成23年10月31日）におけるわが国の経済は、東日本大震災及び原子力災害の影響のほか、米国景気の先行きや欧州債務問題への懸念等、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような経済情勢のもと、当社グループは、調剤薬局の新規開発及びM&Aを効果的に活用し、また、都市型ドラッグストアでは、MDの継続的改善及び新規出店・移転改装等により販売力を強化し、グループの事業規模及び収益拡大に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高が688億3千3百万円（前年同期比11.3%増）、営業利益は47億8千1百万円（同39.9%増）、経常利益は48億7千1百万円（同40.4%増）となり、四半期純利益は23億6千4百万円（同39.3%増）となり、いずれも順調に推移いたしました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(医薬事業)

調剤薬局既存店については、全体的な傾向として、前年並みの来局患者数を確保する一方、処方日数の長期化に伴う処方箋単価の上昇により、売上、利益とも前年を上回る水準で推移しております。

これに加え、調剤業務のオートメーション化及び業務の標準化による労働生産性の向上、ジェネリック医薬品の使用推進による、同医薬品専門卸の子会社(株)ホールセールスターズとの相乗効果等により、セグメント利益率についても前年同期比1.2ポイント改善しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、614億1千1百万円（前年同期比12.9%増）、セグメント利益57億5千4百万円（同28.3%増）と増収増益を確保いたしました。

同期間の出店状況は、M&Aを含め、グループ全体で合計22店舗の出店を実施し、8店舗を閉店した結果、当社グループにおける薬局総数は462店舗となりました。

(物販事業)

物販事業は、今夏、冷却関連商品をはじめとする節電対応商品の需要増等、一部商材に改善が見られましたものの、全体的な消費マインドは、依然として停滞から脱しておらず、大変厳しい環境にあります。

当社では、このような環境において、都市型ドラッグストア「アインズ&トルペ」の収益改善に取り組み、営業不振店舗については、閉店またはリロケーションするとともに、コスメティック商品、医薬品を軸としたMDの強化、販売促進手法についてはDMからモバイルツールへの切り替えを行なってまいりました。

その結果、既存店における売上高は前年を僅かに下回りましたが、粗利益の改善とともにコスト面においても着実に改善し、セグメント利益ベースで黒字転換いたしました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、新規出店の売上貢献により73億1千2百万円（前年同期比0.0%減）と前年同水準となりましたが、セグメント利益は5千2百万円（前年同期は1億8百万円の損失）と大きく改善いたしました。

同期間の出店状況は、アインズ&トルペ宮の沢駅店（札幌市西区）を新規出店し、三宮店（兵庫県神戸市）のリロケーションのほか、吉祥寺店を閉店し、ドラッグストア店舗総数は53店舗となりました。

(その他の事業)

その他の事業における売上高は1億8百万円、セグメント損失は3千6百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末より46億2千5百万円増の815億6千5百万円となりました。

主な要因は、現金及び預金、M&Aを含む新規出店による有形固定資産全般及びのれんの増加によるものであります。

負債の残高は、30億6千万円増の505億1百万円となりました。主な要因は、買掛金及び預り金の増加によるものであります。

有利子負債の残高は、2億2千2百万円増加となる134億3千7百万円となりました。

純資産の残高は、15億6千5百万円増の310億6千4百万円となり、自己資本比率は0.3ポイントマイナスとなる38.0%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ28億9千5百万円増の182億9千3百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益45億3千1百万円、仕入債務の増加額19億5千9百万円、減価償却費8億1千5百万円、のれん償却額5億6千3百万円を主な収入要因として、また、法人税の支払額24億5千8百万円を主な支出要因として、75億3千3百万円の収入(前年同期は27億5千6百万円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出17億6千6百万円、関係会社株式の取得による支出10億3千3百万円、貸付けによる支出6億4百万円を主な要因として、39億1千万円の支出(前年同期は11億4千7百万円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の借入れと返済の差額が1億2千1百万円の調達となり、また、配当金の支払額7億1千7百万円を主な要因として、7億2千6百万円の支出(前年同期は23億9千8百万円の収入)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期の新店及び既存店の業績動向ならびに今後の出店計画を勘案した結果、現時点においては、平成23年5月30日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,437,879	18,355,707
受取手形及び売掛金	10,247,872	9,767,421
商品	8,268,413	8,240,730
貯蔵品	107,455	107,385
繰延税金資産	928,606	902,564
短期貸付金	235,400	822,160
未収入金	2,036,824	1,973,382
その他	898,265	656,332
貸倒引当金	△127,879	△130,405
流動資産合計	38,032,838	40,695,278
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,456,550	6,597,819
土地	5,420,785	5,457,241
その他(純額)	1,574,042	1,774,548
有形固定資産合計	13,451,378	13,829,609
無形固定資産		
のれん	13,867,280	15,075,233
その他	960,649	951,928
無形固定資産合計	14,827,929	16,027,162
投資その他の資産		
投資有価証券	2,959,577	2,949,206
繰延税金資産	1,233,263	1,263,103
敷金及び保証金	4,990,283	5,438,331
その他	1,638,972	1,593,563
貸倒引当金	△229,808	△258,542
投資その他の資産合計	10,592,288	10,985,663
固定資産合計	38,871,596	40,842,435
繰延資産		
株式交付費	35,750	27,907
繰延資産合計	35,750	27,907
資産合計	76,940,185	81,565,621

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	19,706,886	21,834,595
短期借入金	5,883,188	5,965,968
未払法人税等	2,421,980	2,074,583
預り金	6,722,371	7,537,706
賞与引当金	948,021	1,046,255
役員賞与引当金	9,375	15,645
ポイント引当金	313,371	307,562
災害損失引当金	11,000	4,586
その他	1,600,266	1,584,577
流動負債合計	37,616,460	40,371,481
固定負債		
社債	184,000	161,000
長期借入金	7,147,773	7,310,249
退職給付引当金	1,270,319	1,378,311
その他	1,222,684	1,280,473
固定負債合計	9,824,778	10,130,033
負債合計	47,441,238	50,501,514
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,682,976	8,682,976
資本剰余金	7,872,970	7,872,970
利益剰余金	13,227,209	14,874,514
自己株式	△4,918	△5,296
株主資本合計	29,778,237	31,425,165
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△327,875	△403,470
その他の包括利益累計額合計	△327,875	△403,470
少数株主持分	48,584	42,412
純資産合計	29,498,946	31,064,107
負債純資産合計	76,940,185	81,565,621

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年10月31日)
売上高	61,840,968	68,833,121
売上原価	52,697,173	57,927,728
売上総利益	9,143,795	10,905,392
販売費及び一般管理費	5,725,810	6,123,432
営業利益	3,417,985	4,781,960
営業外収益		
受取利息	29,296	28,915
受取配当金	20,165	24,354
受取手数料	23,677	24,946
不動産賃貸料	43,162	50,972
業務受託料	42,771	60,771
その他	110,930	134,101
営業外収益合計	270,003	324,062
営業外費用		
支払利息	117,064	92,724
債権売却損	34,801	34,340
不動産賃貸費用	24,684	18,504
貸倒引当金繰入額	—	30,000
その他	41,555	58,730
営業外費用合計	218,106	234,299
経常利益	3,469,882	4,871,723
特別利益		
投資有価証券売却益	—	13,002
固定資産売却益	979	800
事業譲渡益	19,047	—
貸倒引当金戻入額	2,400	—
国庫補助金	38,648	—
その他	583	1,500
特別利益合計	61,659	15,302
特別損失		
固定資産除売却損	35,207	43,096
投資有価証券売却損	—	4,474
投資有価証券評価損	34,689	50,064
減損損失	—	113,323
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	160,596	—
その他	19,914	144,879
特別損失合計	250,407	355,839
税金等調整前四半期純利益	3,281,134	4,531,186
法人税等	1,581,670	2,172,707
少数株主損益調整前四半期純利益	1,699,463	2,358,479
少数株主利益	2,171	△6,171
四半期純利益	1,697,291	2,364,651

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,699,463	2,358,479
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△145,351	△75,594
その他の包括利益合計	△145,351	△75,594
四半期包括利益	1,554,111	2,282,884
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,551,939	2,289,056
少数株主に係る四半期包括利益	2,171	△6,171

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成22年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成23年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,281,134	4,531,186
減価償却費	680,813	815,915
減損損失	—	113,323
のれん償却額	440,940	563,972
事業譲渡損益(△は益)	△19,047	—
投資有価証券評価損益(△は益)	34,689	50,064
退職給付引当金の増減額(△は減少)	100,445	107,991
賞与引当金の増減額(△は減少)	106,221	96,283
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△9,527	6,270
受取利息及び受取配当金	△49,461	△53,270
支払利息	117,064	92,724
固定資産除売却損益(△は益)	34,227	42,296
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	160,596	—
売上債権の増減額(△は増加)	736,849	643,615
たな卸資産の増減額(△は増加)	△463,854	95,210
未収入金の増減額(△は増加)	△2,267,194	86,380
仕入債務の増減額(△は減少)	1,370,139	1,959,456
その他	269,213	879,295
小計	4,523,249	10,030,715
利息及び配当金の受取額	48,629	54,640
利息の支払額	△117,710	△94,025
法人税等の支払額	△1,697,685	△2,458,203
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,756,482	7,533,127
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△637,612	△1,766,978
有形及び無形固定資産の売却による収入	4,039	36,900
投資有価証券の取得による支出	△132,160	△148,500
投資有価証券の売却による収入	—	35,131
関係会社株式の取得による支出	—	△1,033,990
事業譲渡による収入	16,005	—
貸付けによる支出	△121,565	△604,000
貸付金の回収による収入	8,000	116,359
定期預金の預入による支出	—	△57,000
定期預金の払戻による収入	—	38,305
その他	△284,434	△526,631
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,147,727	△3,910,402

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成22年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成23年10月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,100,000	2,100,000
短期借入金の返済による支出	△900,000	△2,017,590
長期借入れによる収入	100,000	2,700,000
長期借入金の返済による支出	△1,955,250	△2,638,112
社債の償還による支出	—	△23,000
株式の発行による収入	4,720,038	—
リース債務の返済による支出	△101,682	△130,464
自己株式の取得による支出	△161	△378
配当金の支払額	△564,046	△717,345
少数株主への配当金の支払額	△6	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,398,891	△726,891
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,007,647	2,895,833
現金及び現金同等物の期首残高	11,188,462	15,397,504
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,196,110	18,293,337

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年5月1日 至平成22年10月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬事業	物販事業	その他の事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	54,409,063	7,315,727	116,178	61,840,968	—	61,840,968
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	6,613	6,613	△6,613	—
計	54,409,063	7,315,727	122,792	61,847,582	△6,613	61,840,968
セグメント利益又は損失(△)	4,485,998	△108,402	△35,809	4,341,787	△871,904	3,469,882

(注) 1. セグメント利益の調整額△871,904千円には、全社費用が708,780千円、報告セグメントに配賦不能の損益(△は益)が97,594千円、セグメント間取引消去が65,529千円含まれております。

なお、全社費用は、主に親会社の総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年5月1日 至平成23年10月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬事業	物販事業	その他の事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	61,411,999	7,312,818	108,303	68,833,121	—	68,833,121
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	6,613	6,613	△6,613	—
計	61,411,999	7,312,818	114,917	68,839,735	△6,613	68,833,121
セグメント利益又は損失(△)	5,754,783	52,072	△36,395	5,770,460	△898,737	4,871,723

(注) 1. セグメント利益の調整額△898,737千円には、全社費用が802,726千円、報告セグメントに配賦不能の損益(△は益)が58,721千円、セグメント間取引消去が37,290千円含まれております。

なお、全社費用は、主に親会社の総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。